令和５年度版

幸 区　日吉第三地区カルテ

エリア　小倉、新小倉、東小倉

川崎市では、すべての市民を対象に、10 年、20 年先の将来も住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるために、地域の特徴に応じた地域包括ケアシステムの構築を進めています。

住民の皆様が地域のことを知り、今できることや、これからどのように暮らしていきたいかなどを考えるきっかけとして活用いただくため「地区カルテ」を作成しました。

地域に入って活動する職員

こんなときに活用しよう！

住み始めたこのまちのことを知りたいな

川崎に引っ越してきて地域を知りたい子育てパパ・ママ

どんな人たちが住んでいるの？地域の特徴や雰囲気は？

見守り活動を始められないかな

活動を始める前に仲間と話し合うための資料が欲しいな

地域の課題を考えている町内会・自治会の人たち

この地域に高齢者はどのくらいいるのかな？

川崎に長く住んでいるおばあちゃん

地域の活動をデータでわかりやすく伝えたい職員

この資料は、町内会・自治会を基本とした一定の地区を範囲として、全市を **44** 地区に分け、地区ごとに共通した統計情報などを整理して作成しました。

※地区割りは概ね地区社会福祉協議会・民生委員児童委員協議会の範囲を参考としています。

幸区 | 日吉第三地区

凡例 いこいの家　地域包括支援センター
こども文化センター　特別養護老人ホーム

参考）「川崎市統合型地図情報システム（マップスかわさき）」

① 避難所等の地図

避難所や応急給水拠点などを掲載

参考）川崎市防災マップ

② ガイドマップかわさき
（モバイル端末用）

川崎市の「防災」「くらし」「まちづくり」の情報を案内する地図サイト

③ 幸区ガイドマップ

区内の地図や見どころなどを掲載

参考）幸区ガイドマップ

人口などの基本的なデータは？

① 人口・世帯数は？

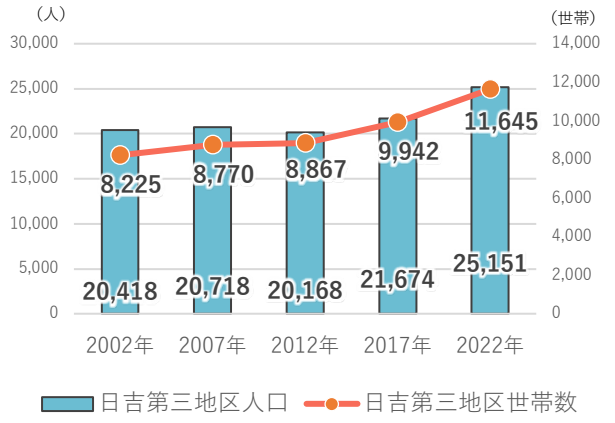
（人）

	人口 実数	世帯数 実数	年少人口 （0～14 歳）	生産年齢人口 （15～64 歳）	高齢者人口 （65 歳以上）	前期高齢者 人口 （65～74 歳）	後期高齢者 人口 （75 歳以上）
日吉第三地区	25,151	11,645	3,878	15,959	5,314	2,666	2,648
幸区	172,247	85,947	23,010	112,233	37,004	17,388	19,616
川崎市	1,523,861	778,337	187,040	1,029,317	307,504	145,902	161,602

※但し、世帯数については単位は世帯

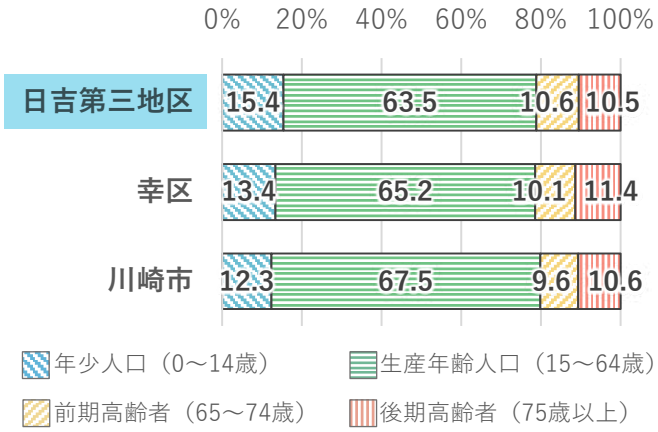
参考）住民基本台帳　2022 年９月末

② 人口・世帯数の変化は？



参考）住民基本台帳　各年９月末

③ 子ども・高齢者の割合は？

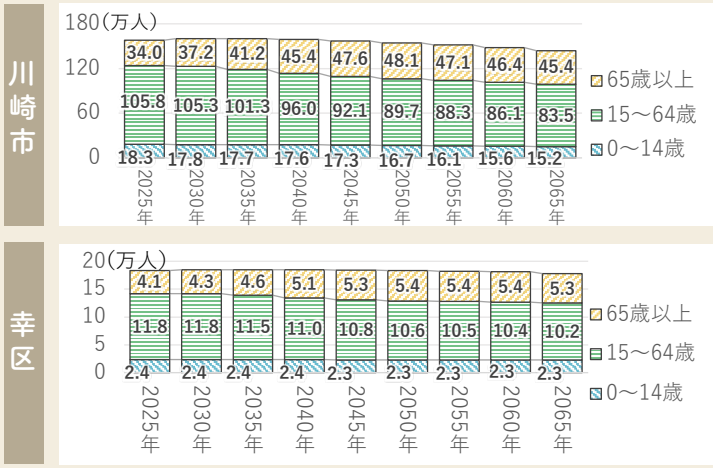


参考）住民基本台帳　2022 年９月末

関連する幸区のデータ

④ 将来の人口推計は？

総人口のピークは、川崎市は約 160.3 万人（2030 年頃）、幸区は約 18.6 万人（2035 年頃）と推計されています。



参考）川崎市総合計画第３期実施計画の策定に向けた将来人口推計 令和３年４月

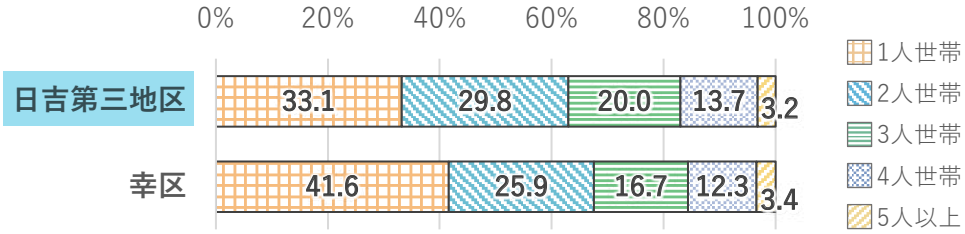
人が増えている地域は、元気のある地域と見ていいですか？

そういった見方もあるかもしれませんが、一方で、地域の特徴を知るための情報は、統計データだけではありません。生活環境、地域活動、住んでいる人たち、普段の暮らしから得られる実感など様々な要素が関係してきます。

統計データは地域を知るための「手がかりのひとつ」ということですね。若い人の割合、子どもや高齢者の割合なども地域の特徴や潜在的なニーズを把握するための手がかりのひとつになりそうですね。

地域に住む人や建物の傾向は？

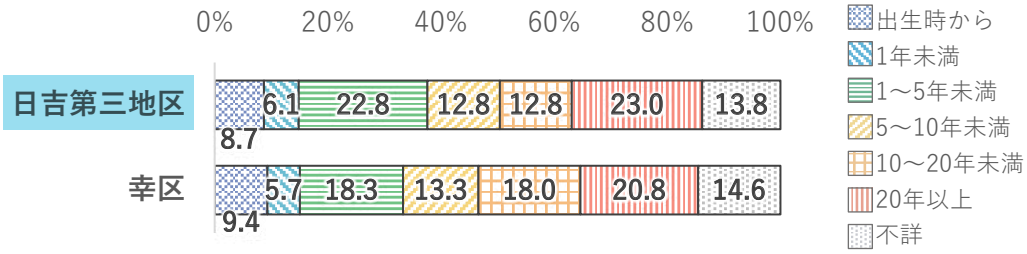
① ひとり暮らしが多い？ 家族で暮らす方が多い？



参考）国勢調査 令和２年（2020）年 世帯の種類・世帯人員・世帯の家族類型　第 5-2 表

ひとり暮らしが多い地域と、家族で暮らす方が多い地域では、地域の困りごとも違うかもしれませんね。

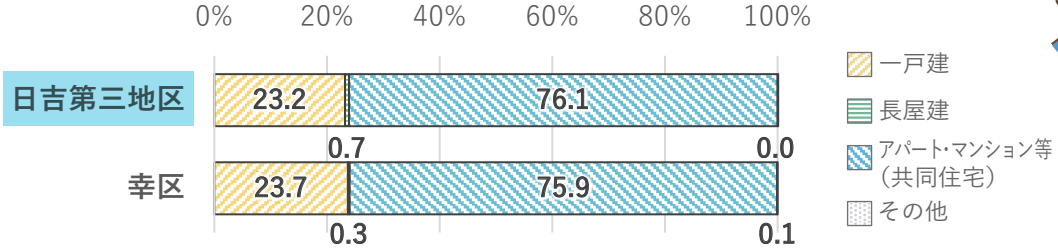
② 長く住む人が多い？ 最近住み始めた人が多い？



参考）国勢調査 令和２年（2020）年　第 18 表 男女，居住期間別人口－町丁・字等

長く住む人が多いほど、きっと顔見知りが多いのよね。いざという時に心強い気がするわ。

③ 一戸建が多い？ アパート・マンション等（共同住宅）が多い？



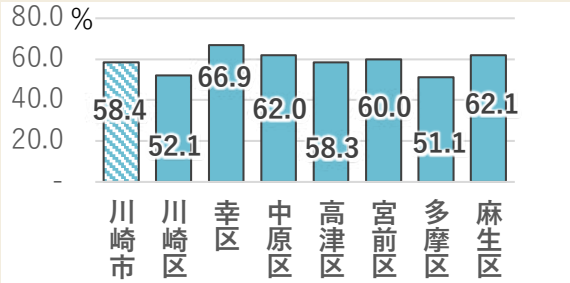
参考）国勢調査 令和２年（2020）年　第 8-1 表 住宅の建て方別一般世帯数－町丁・字等

一戸建の住宅が多い地域では、防犯パトロールの取組も大切なのかな。

防災訓練の安否確認はマンションでも大切そうだな。
エレベーターの閉じ込め救出訓練も大切になりそう。

関連する幸区のデータ

④ 町内会・自治会の加入状況は？



参考）川崎市統計書　令和３年（2021 年）版
14 教育及び文化　第 21 表 住民組織加入状況

例えば・・・

◆「家族」で「長く」住む方が多い、「一戸建」の多い地域

◆「一人暮らし」で「アパート・マンション等」に住み「短期間」で引っ越してしまう方が多い地域

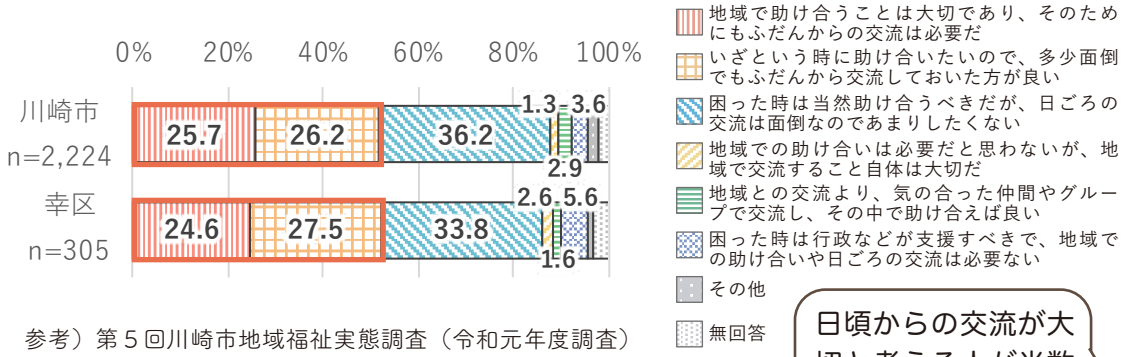
など、複数の統計データを見ることで、地域の特徴が見えてくるかもしれません。

近所づきあい・地域活動等への考えや参加状況は？

市民アンケート等で寄せられたご意見の紹介

◆近所づきあい・地域住民同士の交流の必要性は？（幸区のデータ）

「地域で助け合うことは大切であり、そのためにもふだんからの交流は必要だ」と「いざという時に助け合いたいので、多少面倒でもふだんから交流しておいた方が良い」と回答した方の合計が、川崎市では 51.9%、幸区では 52.1% であり、交流の必要性を感じる方が５割を越えています。

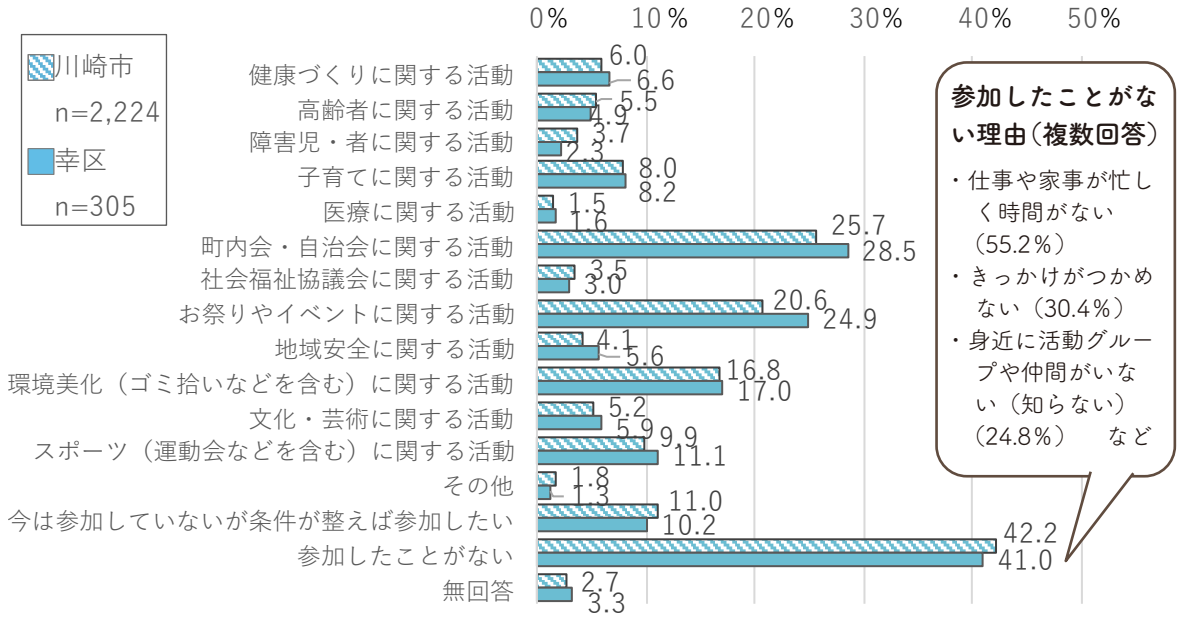


参考）第５回川崎市地域福祉実態調査（令和元年度調査）

日頃からの交流が大切と考える人が半数程度いるようですね。

◆地域活動やボランティア活動への参加は？（幸区のデータ）

幸区では地域活動などに「参加したことがない」が 41.0% で最も高く、参加したことがあるものとしては、「町内会・自治会に関する活動」（28.5%）、「お祭りやイベントに関する活動」（24.9%）の割合が高くなっています。



参加したことがない理由（複数回答）

- 仕事や家事が忙しく時間がない（55.2%）
- きっかけがつかめない（30.4%）
- 身近に活動グループや仲間がいない（知らない）（24.8%）　など

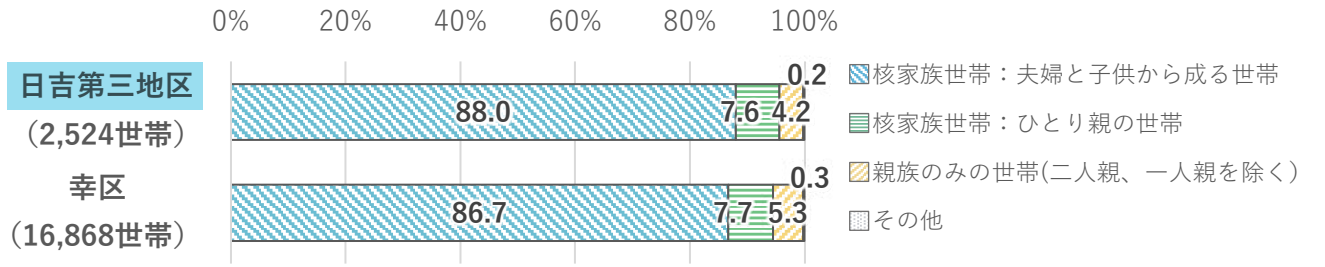
参考）第５回川崎市地域福祉実態調査（令和元年度調査）

「町内会・自治会の活動」、「お祭りやイベント」や「環境美化の活動」が参加のきっかけになっている人もいそうね。

地域活動に参加しやすい工夫が何かできるといいな。

子ども・子育ての状況は？

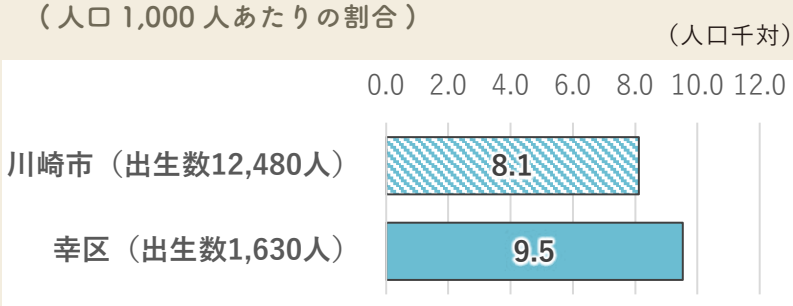
① 子どもが暮らす家庭の状況は？



参考）18 歳未満世帯員のいる一般世帯 / 国勢調査 令和 2(2020) 年 独自集計 第 2 表 表番号 2-1
※「18 歳未満世帯員のいる一般世帯」を 100 とした時の各割合

関連する幸区のデータ

② 1 年間に生まれた赤ちゃんの人数や割合は？
（人口 1,000 人あたりの割合）

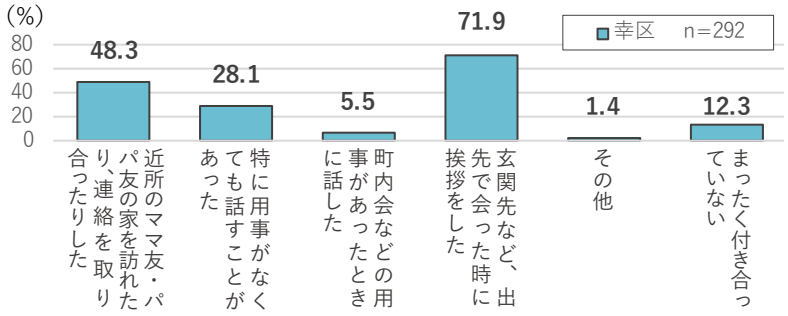


参考）川崎市統計書 令和 3 年（2021 年）版
「出生・死亡・婚姻・離婚数の推移」令和 2 年データ

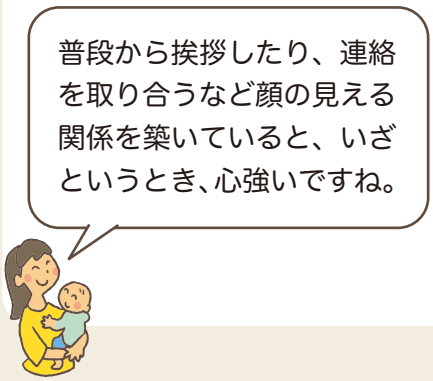
市民アンケート等で寄せられたご意見の紹介

◆近所との交流の程度は？（幸区のデータ）

幸区内の０～６歳の子どもがいる世帯を対象に、直近１か月間の近所との交流の程度について聞いたところ、「まったく付き合っていない」と答えた方は 12.3％である一方、「近所のママ友・パパ友の家を訪れたり、連絡を取り合ったりした」と答えた方が 48.3％でした。

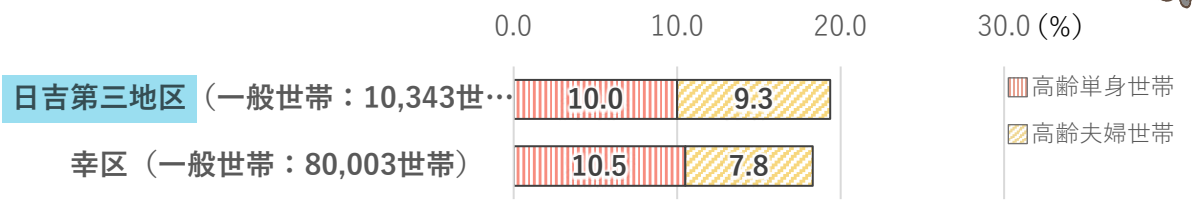


参考）川崎市子ども・若者調査　令和２年度
※複数回答　※市内の０～６歳の子どもがいる世帯の保護者を対象に実施



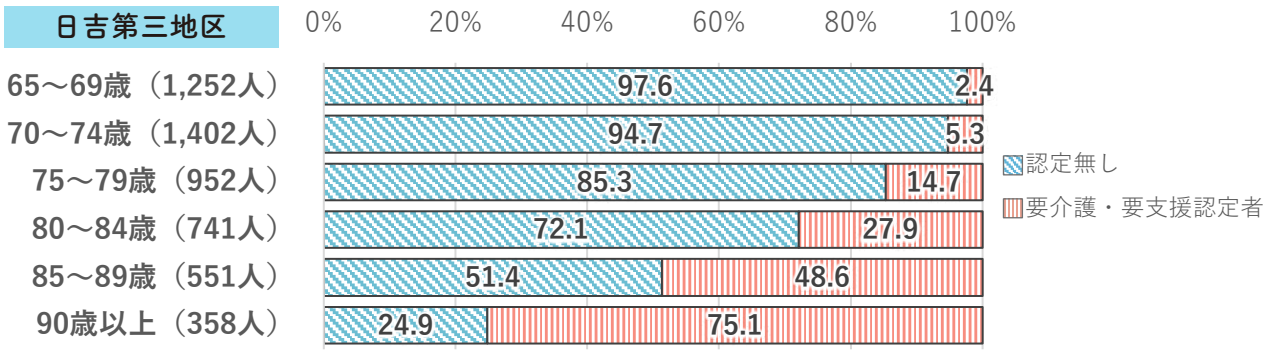
高齢者や障害者等の状況は？

① 高齢者だけの世帯はどれくらい？



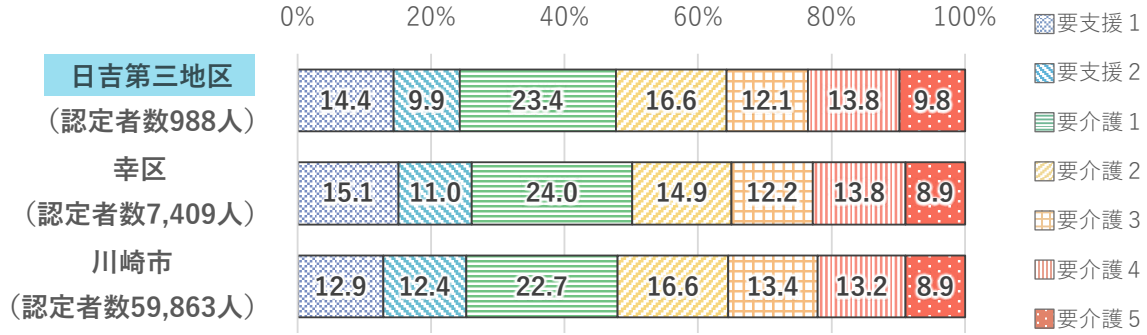
参考）高齢単身世帯・高齢夫婦世帯 / 国勢調査 令和 2(2020) 年 独自集計 第 3 表 表番号 3-1
※高齢夫婦世帯：夫が 65 歳以上、妻が 60 歳以上のみの夫婦世帯

② 自立して暮らせる方、ケアが必要な方の割合は？



参考）介護保険情報　令和 4 年 10 月 1 日

③ 要介護・要支援に認定された方の割合は？



参考）介護保険情報　令和 4 年 10 月 1 日

関連する幸区のデータ

④ 障害者に関するデータ

障害者関係		人数（人）
身体障害者数	※1	4,983
知的障害者数	※2	1,553
精神障害者保健福祉手帳所持者数	※3	1,693
自立支援医療（精神通院医療）受給者数	※4	2,947

参考）令和 4 年 3 月末
※1：健康福祉局障害福祉課調べ
※2：判定のみを受けて療育手帳を所持していない方も含む
※3：健康福祉局総合リハビリテーション推進センター総務・判定課調べ
※4：健康福祉局国民年金・福祉医療課調べ

周辺では高齢者が増えてきているので、見守り合うようなつながりが地域の中でできるといいなあ。

そういった活動は大切ですね。一方で、高齢者の割合が比較的高くても、要支援や要介護認定者の割合が高いとは限りません。

確かに！元気な高齢者には、いきがい・健康づくりや介護予防の取り組みが大切になりそうですね。いろんな地域活動の担い手としても期待できたり・・地域で過ごす時間が長いからこそ、地域づくりの頼もしい存在になる、とも言えるかも？！

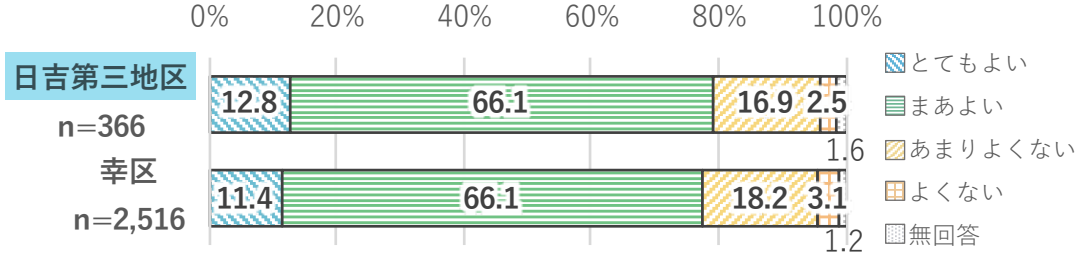
高齢者や障害者等の状況は？

市民アンケート等で寄せられたご意見の紹介

外出は、健康の維持や介護予防にもつながります。運動する機会が少ない方は、ぜひご近所の散歩から始めてみてはいかがでしょうか。

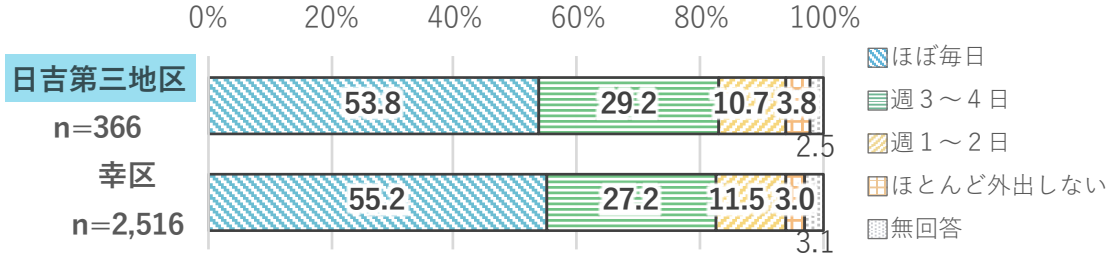
◆高齢者の健康状態は？（日吉第三地区のデータ）

日吉第三地区で健康状態について「とてもよい」「まあよい」と回答した方の合計は78.9％でした。



◆1週間に何回出かけるか？（日吉第三地区のデータ）

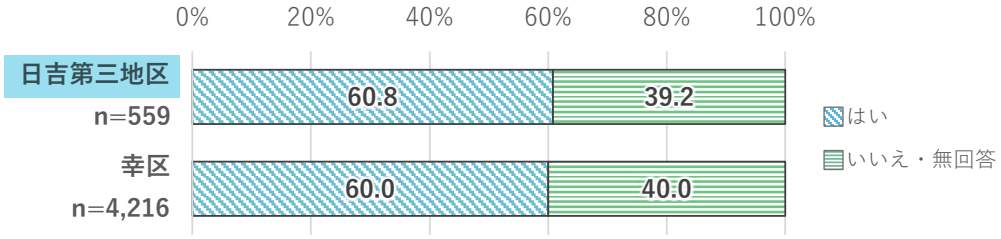
日吉第三地区で1週間のうち「ほぼ毎日」外出する方は53.8％と、5割を超えていました。



参考）令和元年度　川崎市高齢者実態調査（介護保険の認定を受けていない65歳以上の高齢者への調査）

◆75歳以上の高齢者の運動習慣は？（日吉第三地区のデータ）

日吉第三地区で、75歳以上の高齢者のうち「ウォーキングなどの運動を週に1回以上している」方は、60.8％と、5割を超えていました。



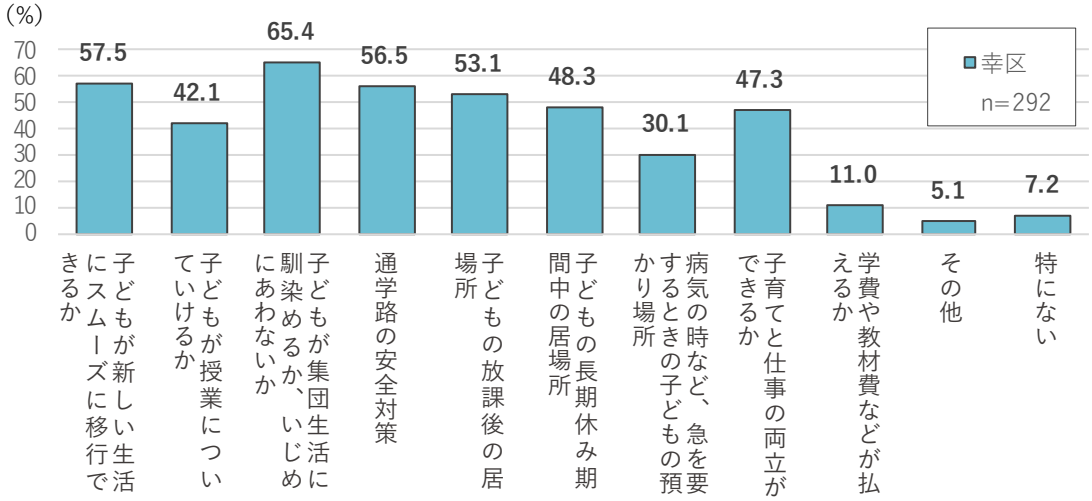
参考）令和2年度　川崎市後期高齢者健康診断データ

暮らしの主役である「ひと」の思い

様々な人が自分らしく暮らせる環境をみんなでつくっていくためには、「まち」の特徴を知るとともに、地域の主役である「ひと」の思いを知ることが大切です。ここでは、そんな「ひと」の思いを知る手がかりとなるアンケート結果をご紹介します。

◆子ども・子育て：小学校入学に向けて不安なことは？（幸区のデータ）

小学校入学に向けて不安なこととして、「子どもが集団生活に馴染めるか、いじめにあわないか」が 65.4% と最も高く、「子どもが新しい生活にスムーズに移行できるか」が 57.5%、「通学路の安全対策」が 56.5%、「子どもの放課後の居場所」が 53.1%、「子どもの長期休み期間中の居場所」が 48.3% となっています。

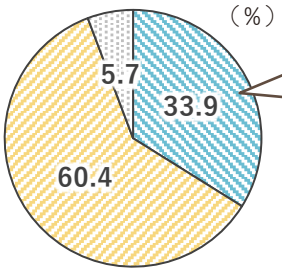


参考）川崎市子ども・若者調査　令和２年度
※複数回答　※市内の０～６歳の子どもがいる世帯の保護者を対象に実施

どんな人がどんなことに困っているかをお互いに知ることが、地域づくりの第一歩ですね。

◆高齢者：不安や困りごとは？（日吉第三地区のデータ）

「不安や困りごとがある」人が３割を超えています。



不安や困りごとの内容（複数回答）

- 身体が衰えて日常生活に不都合があること（10.1%）
- 困りごとを相談する場所がよくわからないこと（7.1%）
- 金銭管理や財産保全に関すること（5.7%）
- 一人で外出すること（5.5%）
- 毎日の食事のため、買い物や調理をすること（4.6%）
- 友人や地域の人との交流が減って孤独に感じること（4.6%）
- 気軽な話し相手がいないこと（4.4%）
- 発作など緊急時に救急車を呼ぶこと（3.8%）

参考）令和元年度　川崎市高齢者実態調査（介護保険の認定を受けていない 65 歳以上の高齢者への調査）

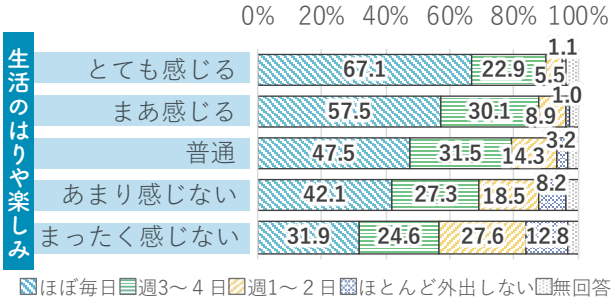
暮らしの主役である「ひと」の思い

◆高齢者：生活に「はり」や「楽しみ」を感じるコツは？（川崎市のデータ）

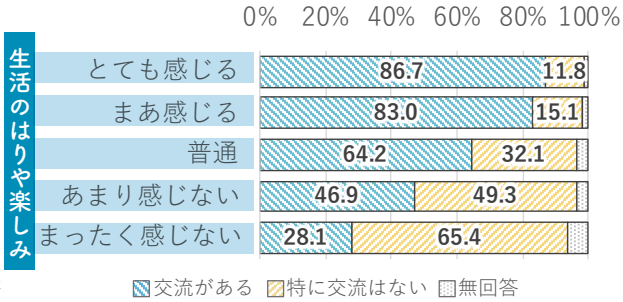
元気に暮らしている 65 歳以上の方にアンケート調査をしたところ、生活に「はり」や「楽しみ」を感じている人ほど、「外出頻度が高く」、「家族以外の方と交流する」の割合が高い結果となっています。

外出や交流が生活の充実につながるみたいだね。地域の交流の場や機会を大切にしていきたいな。

1 週間に何回出かけるか



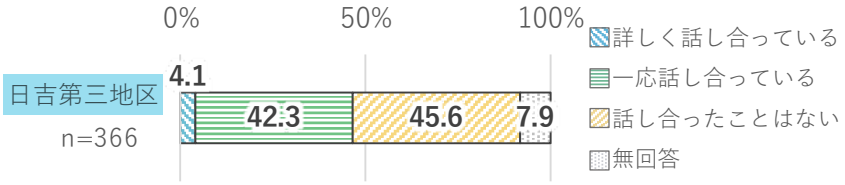
家族以外の方との交流はあるか



参考）令和元年度　川崎市高齢者実態調査（介護保険の認定を受けていない 65 歳以上の高齢者への調査）

◆高齢者：終末期について家族と話し合っているか？（日吉第三地区のデータ）

「詳しく話し合っている」「一応話し合っている」と回答した方の合計は 46.4％となっており、話し合っている人が 4 割を超えています。

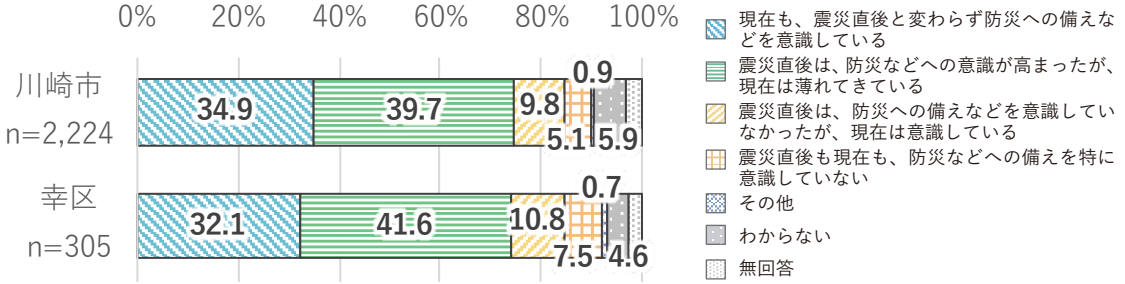


できれば住み慣れた自宅で最期を迎えたいから、家族や周りの人たちに相談してみようかしら。

参考）令和元年度　川崎市高齢者実態調査（介護保険の認定を受けていない 65 歳以上の高齢者への調査）

◆防災：東日本大震災以降の防災意識は？（川崎市と幸区のデータ）

幸区では、「震災直後は防災などへの意識が高まったが、現在は薄れてきている」の割合が 41.6％で最も高くなっています。



災害はいつ起こるか分からないので、備えをしておきたいな。

参考）第 5 回川崎市地域福祉実態調査（令和元年度調査）

発行連絡先
各区役所地域みまもり支援センター（福祉事務所・保健所支所）地域ケア推進課
川崎市健康福祉局地域包括ケア推進室
☎：044-200-0482　FAX：044-200-3926
メールアドレス：40keasui@city.kawasaki.jp

地域包括ケアシステムパンフレット（6.7MB）
相談先などを紹介しています。